

Ⅲ 移植成績（生着率）

point ▶ 高齢レシピエントでは、① 急性拒絶反応が少ない、② 感染症の合併が多い、③ 移植腎喪失の原因として death with functioning graft が多い、という特徴がある。

生着率

高齢レシピエントの生存率は当然若年レシピエントと比べて悪く、生着率も低くなる。しかし、死亡を打ち切りとした death censored graft survival で比較すると、生着率は若年レシピエントと変わらないという報告が多い^{5),6)}。加齢により免疫応答の反応は低下するため、急性拒絶反応が若年者と比べて少ないことが一因と考えられるが、長期的な生着率は不良とする報告もある⁷⁾。これは、免疫学的な要因よりも血圧や高脂血症などの合併症の管理が関係していると推測される。

合併症の管理

death with
functioning
graft

高齢レシピエントの移植腎喪失の最大の原因は移植腎が機能したままの死亡（death with functioning graft）で、そのおもな死亡原因は心血管疾患と感染症である⁸⁾。移植後の心血管合併症や感染症への対応が、高齢レシピエントの移植成績向上の鍵である。

Ⅳ 問題点

point ▶ 術前は、加齢に伴う身体機能や認知機能の低下、合併症の有無など慎重に評価する必要がある。
▶ 高齢者では、過剰な免疫抑制を避け、感染症や悪性腫瘍などの合併症リスクを最小限にすることが重要である。
▶ 移植患者が高齢化し自己管理が困難になった場合には、家族のサポートや介護サービスが重要になる。

1 過剰な免疫抑制の可能性

免疫抑制

年齢とともに免疫応答の反応が低下するほか、薬物動態や効果も高齢者では異なる。

若年者と同じような免疫抑制薬の使用方法だと過剰な免疫抑制となって、感染症のリスクを高める可能性がある。

Mier-Kriesche らは、年齢別に急性拒絶反応と感染死を調べたところ、年

【用語解説】

• death with functioning graft

移植腎は機能したまま、心血管合併症や悪性疾患など他の理由で死亡すること。